

# 令和2年度 第2次事業計画書

一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会

## 1 運営方針

令和2年度も「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多く、スポーツに参加できるよう、以下、5つの観点で活動を展開していく。

当協会の活動は、新型コロナウイルスの影響により、3月から休止しており、当初の計画から大幅に変更となる見通しである。今後、スポーツ活動の再開にあたって、関係機関からの感染拡大防止マニュアルに加え、活動時の現場情報を元に、より安全な対策を検証するとともに関係団体への情報提供に努める。

また、しばらくの間、感染リスク軽減の観点から大規模なスポーツイベント等の開催は困難であることが想定され、地域における小規模での活動が中心となると見込んでいる。そこで、これまでの課題であった地域におけるスポーツ参加環境整備に取り組む機会として前向きに捉えたい。

### (1) 競技スポーツについての取り組み（継続）

全国障害者スポーツ大会やジャパンパラリンピック等のある程度の競技レベルが必要となる大会での活躍を目指す選手の競技力向上をサポートする取り組み。本県は、競技性の高い選手層が薄く、次世代選手の育成等、裾野の拡大に課題がある。そこで、競技スポーツの定着化を図るために、日常的に競技参加が「生きがい（生涯スポーツ）」につながるような支援を行いたい。

### (2) 生涯スポーツについての取り組み（継続）

重度及び高齢の障がい者など、障がいの程度、年齢、性別、地域性を問わず、誰もがいつでもどこでもスポーツに参加できるよう福祉関連団体だけでなく、学校、一般スポーツ団体、企業等、様々な団体と連携を図りながら生涯スポーツを推進する取り組み。

### (3) リハビリテーションスポーツの取り組み（追加）

スポーツへの無関心層の増加は、大きな課題となっている。そこで、その要因の1つであるスポーツ参加時の障壁について分析し、障がい者団体や就労・生活支援及び医療機関等との連携を図りながら、対象者に対してスポーツ導入を支援するプログラムを推進する取り組みを行う。

また、活動の現場に足を運ぶことが難しく、あるいは重度障がいや社会不適応により、自宅等からの外出が困難な方に対して、インターネットを活用した遠隔操作やオンラインでのeスポーツ事業等、様々なケースに対応する取り組みを行い、スポーツ参加の可能性を広げていきたい。

### (4) パラリンピックのムーブメントを活用した機運醸成のための取組み（修正）

新型コロナウイルス感染症の影響によるパラリンピックの延期は、これまでの「スポーツをする・みる・ささえる」といったスポーツの価値観に変化を及ぼす可能性が考えられる。そこで、本年度は、パラリンピックによる機運醸成の取組みを継続するとともに、感染症による社会全体やスポーツイベント、地域スポーツ等に与える影響を捉えながら、対応していきたい。

### (5) スポーツを活用した社会課題へのアプローチ及び共生社会づくりの推進（継続）

これまでの取組みを通して、障がいのある人へのスポーツの参加環境整備が、地域におけるコミュニティ形成にも有用であることがわかってきた。特に卓球バレーやボッチャといったユニバーサルスポーツは、障がいのある人もない人も共にスポーツで競い合いながら楽しむことができる。そこで、これらのユニバーサルスポーツを地域における活動拠点の象徴である公民館等において普及させ、障がいのある方がいつでも参加できるような地域コミュニティの形成に寄与したいと考える。

## 2 障がい者スポーツ振興事業(岩手県委託事業)

### (1) 障がい者スポーツ振興事業

事業名	内容
①スポーツ教室実施事業	1) スポーツ教室 (21 教室) 2) フライングディスク大会開催 期日：7月11日(土) 会場：ふれあいランド岩手
②障がい者スポーツ指導員養成事業	1) 初級障がい者スポーツ指導員①(3日間/県央地区) 期日：7月23日(木祝)～25日(土) 会場：ふれあいランド岩手 2) 初級障がい者スポーツ指導員②(3日間/沿岸地区) ※期日、会場は未定 3) 中級障がい者スポーツ指導員(8日間) 4) フォローアップ研修会(1回)
③岩手県障がい者スポーツ大会開催事業 ※開催中止決定(4月15日付)	1) 期日：令和2年6月6日(土) 2) 会場・実施種目(個人競技)：以下のとおり *岩手県営運動公園：陸上、フライングディスク *ふれあいランド岩手：水泳、卓球、アーチェリー *盛岡スターレーン：ボウリング
④障がい者スポーツ選手育成強化事業 ※北海道・東北ブロック予選会は全競技開催中止決定(4月15日付)	1) 各競技強化練習(2回以上) 2) 団体競技遠征(1回以上) 3) 北海道・東北ブロック予選会参加支援 4) 北海道・東北ブロック予選会(フットベースボール) 期日：6月21日(日) 会場：石鳥谷ふれあい運動公園 5) 指導者間連携体制構築(連絡会議1回)
⑤障がい者スポーツ振興推進員設置事業	障がい者スポーツ振興推進員(3名配置)

### (2) 全国障害者スポーツ大会派遣選手強化練習及び大会派遣事業

事業名	内容等
派遣選手選考会	期日：6月中旬/会場：ふれあいランド岩手
第1回強化練習会	期日：7月18日(土)/会場：ふれあいランド岩手
第2回強化練習会(合宿)	期日：9月19日(土)～20日(日) 会場：ふれあいランド岩手 他 宿舎：サンセール盛岡
結団壮行式(国体選手団合同)	期日：9月24日(木)/会場：盛岡タカヤアリーナ
全国障害者スポーツ大会派遣事業	期日：10月22日(木)～27日(火) 会場：鹿児島県

### (3) 障がい者スポーツ団体によるスポーツを通じた共生社会づくり推進事業(2期目)

大会名(卓球バレー大会)	内容等
①岩手県卓球バレー交流大会2020	期日：10月18日(日)/会場：ふれあいランド岩手
②第2回さんてっカップ	期日：11月3日(火祝)/会場：宮古市民総合体育館

### 3 パラリンピック選手等育成・強化事業費補助金交付事業(岩手県補助金)

#### (1) いわて障がい者スポーツ強化指定選手について

##### ①いわて障がい者スポーツ強化指定選手推薦要領 (県作成/抜粋)

##### 1) 対象競技

パラリンピック実施競技及び障がい者国際大会実施競技 (デフリンピック競技等を含む)

##### 2) 推薦機関

ア 公益財団法人岩手県体育協会に加盟する競技団体

イ 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

ウ 岩手県

##### 3) 強化指定選手の条件 (概要)

ア 岩手県にゆかりのある選手 (本県在住または県内小中高等学校、特別支援学校等を卒業した者)

イ 国際大会正式種目に取り組む者で中央競技団体の強化指定を受け、国際大会に出場実績のある者 (直近2年間)、若しくは国際大会または全国大会出場実績 (見込みを含む) のある者 (直近2年間)。ただし、他都道府県・指定都市または同区内の障がい者スポーツ協会から強化指定を受けるもの補助金等を交付される者は該当しない。

##### 4) 強化指定選手の選考について

県が開催する「いわて障がい者スポーツ強化指定選手選考委員会」において選考し、指定する。

##### ②補助対象想定大会 (陸上、水泳、卓球、ボッチャ等) ~新型コロナウイルスによる影響

区分	大会名 (略称使用)	期日	会場
陸上	2020 ジャパンパラ陸上競技大会/中止	<del>5/2 (土) ~3 (日)</del>	国立競技場 (東京都)
	第31回日本パラ陸上競技選手権大会/延期	<del>5/30 (土) ~31 (日)</del> ※9/5 (土) ~6 (日)	熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場 (埼玉県)
	北海道・東北パラ陸上競技選手権大会/延期	<del>6/20 (土) ~21 (日)</del> ※11/21 (土) ~22 (日)	郡山ヒロセ開成山陸上 競技場 (福島県)
ボッチャ	第22回日本ボッチャ選手権大会 東日本ブロック予選会/中止	<del>5/15 (金) ~17 (日)</del>	一関市総合体育館
	第22回日本ボッチャ選手権大会/中止 ※BCクラスのみ	<del>10/30 (金) ~11/1 (日)</del>	ありそドーム (富山県)
水泳	2020 ジャパンパラ水泳競技大会/中止	<del>5/22 (金) ~24 (日)</del>	横浜国際プール (神奈川県)
	第37回日本パラ水泳選手権大会	11/7 (土) ~8 (日)	セントラルスポーツ宮 城 G21 プール (宮城県)
	2021 パラ水泳春季記録会	3/6 (土) ~7 (日)	静岡県富士水泳場 (静岡県)
卓球	パラ FID ジャパン・チャンピオンシップ 卓球大会 2020	6/6 (土) ~7 (日)	横浜市平沼記念体育館 (神奈川県)
	パラ FID ジャパン・年代別オープン 卓球大会 2020	10/3 (土) ~4 (日)	サン・ビレッジ新発田 (新潟県)
	パラ FID ジャパン・チャンピオンリーグ 卓球大会 2020	12/5 (土) ~6 (日)	横浜市平沼記念体育館 (神奈川県)

#### (2) 強化指定までの手続き等について

上記のとおり、6月頃までの大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、大会の中止が相次いでいるため、例年の日程により、手続きを進めることとしている。

## 4 パラアスリート拡張支援事業(新規:岩手県委託事業)

### (1) 令和2年度デュアル・アスリートプロジェクト事業

#### ①趣旨

これまで発掘・育成してきた選手等に対し、現在取り組んでいる競技種目の他、冬季パラリンピック競技種目等複数の競技種目に取り組む機会を設けることで、2022年北京パラリンピック等世界大会に出場するアスリート輩出や、パラアスリートの競技選択や活動機会の拡張を図る。

#### ②業務内容

事業	実施回数	備考
カーリング練習会	6	下肢に障がいのある肢体不自由対象
カーリング交流試合	2	下肢に障がいのある肢体不自由対象
スキー競技練習会	1	視覚障がい、聴覚障がい 肢体不自由、知的障がい対象

### (2) 令和2年度パラアスリートコーディネーター配置事業

#### ①趣旨

高い競技性が求められるパラアスリートの活動サポートにおいては、所属先である学校や企業、リハビリ等の医療機関、競技団体等と連携し、練習環境の整備など、選手個々のニーズや居住地域の課題に応じて関係機関との調整役となるコーディネーターの活動が必要である。選手の活動環境を整備するコーディネーターを配置することにより、より高いレベルでのアスリート活動や育成を推進する。

#### ②パラアスリートコーディネーターについて

以下の団体から障がい者スポーツ競技指導実績のある方を中心に依頼する。

ア 岩手県理学療法士会、イ 岩手県作業療法士会、ウ 岩手県スポーツ医・科学委員会

エ 岩手県特別支援学校連絡協議会、オ 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

カ その他関係団体

#### ③活動内容（想定される活動場面）

ア 特別支援学校等の部活動

イ 休日のパーソナルトレーニング

ウ 地域競技大会参加に向けた活動支援（練習環境・競技団体登録含む）

エ 地域競技団体との連携サポート

オ 地域クラブや一般高等学校部活動との連携サポート

#### ④具体的方法

ア 対象選手の情報収集

イ 支援者・指導者との情報交換及びニーズ調査

ウ サポート計画作成

エ サポート活動の実施

オ サポート活動の結果報告

## 5 令和2年度障害者スポーツ振興事業「地域における障がい者スポーツの振興事業」

※公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の公募事業として以下のとおり、受託決定した。

### (1) スポーツを通じた各種団体連携による共生社会づくり推進事業 (200万円/30事業)

事業名	内容等
①障がい者スポーツ教室 ※合計 10 回	1) 卓球バレーまたはボッチャ教室 (5 回) 2) 野外レクリエーション教室 (5 回)
②ユニバーサルスポーツ体験交流支援事業 ※5 回	各地域で行われるユニバーサルスポーツの体験会を支援する (5 回)
③各市町村連携及び地域人材活用事業 ※10 回	1) 卓球バレー指導者養成事業 (2 回) 2) ボッチャ競技サポーター養成事業 (2 回) 3) スポーツ導入支援事業 (2 回) 4) 他地域間スポーツ交流事業 (2 回) 5) 卓球バレー及びボッチャ交流大会開催 (2 回)
④総合学習支援事業 ※4 回	小中学校等への障がい者スポーツ訪問教室 (4 回)
⑤共生社会づくりシンポジウム開催事業 ※1 回	パラリンピックを契機とした共生社会推進の取組みを継承するためのシンポジウムを開催 (1 回)

### (2) 事業名称/PTのための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 (60万円)

岩手県理学療法士会からの要望により申請予定。今年度で3年連続開催となる。初級指導員資格の有無に関わらず受講可能で、しかも短時間のカリキュラムで中級資格を取得できるメリットがある。理学療法士が活動現場に参加しやすい環境に配慮しながら、安全なスポーツ導入事業や競技力向上に関する事業等におけるサポート体制の充実化を図るため、取得後の活動を支援する。

## 6 チャレンジド・スポーツ支援事業～第六期チャレンジド・アスリート奨励金(最終年/200万円)

※岩手、宮城、福島の障がい者スポーツ団体及び個人が対象(最大で個人50万円、団体200万円)

### (1) 実施期間：令和2年1月1日～令和2年12月31日

### (2) 事業内容

委託事業により、支出対象とならない選手育成強化事業及び障がい者スポーツ指導員養成事業等を含め、下記の事業を実施する。

- ①全国障害者スポーツ大会選手育成強化事業 (練習会や遠征費補助)
- ②競技性の高い中央開催の競技大会への旅費支援
- ③障がい者スポーツに関する研修会
- ④卓球バレー、ボッチャを活用した地域における環境整備及び横の連携を推進する事業

### (3) 予定事業一覧

事業名	実施時期等	備考
選手育成強化事業	通年	選手の交通費等
車いすスキルアップ研修会	延期	スタッフ参加経費
第3回あまちゃんカップ	中止	スタッフ参加経費
ユニバーサルスポーツ体験教室	通年	スタッフ参加経費
障がい者スキー交流会	3/6(土)～7(日)	講師派遣経費
第2回卓球バレーたかたサントリーカップ	未定	スタッフの参加経費
被災地における卓球バレー交流大会	7/12(日)・宮古市	スタッフの参加経費
ボッチャ交流大会開催	未定	スタッフの参加経費

## 7 他団体との連携及び協力事業(自主事業)

- (1) 障がい者団体（身体・知的・精神）支援事業
- (2) 各市町村体育協会（水泳、運動教室、サッカー、ラグビー、ボッチャ、卓球バレー等）
- (3) 岩手県精神障害者社会福祉事業協会（第19回岩手県精神障がい者バレーボール大会）
- (4) 総合型地域スポーツクラブ連携事業
- (5) 各市町村スポーツ推進委員連携事業
- (6) 岩手リハビリテーション学院への講師派遣（日程未定）  
→同校、理学療法学科において障がい者スポーツに関する講義を15時間実施予定。
- (7) 各種スポーツ教室及び研修会への講師・指導者派遣
- (8) 日本障がい者スポーツ協会関連事業

### ①障がい者スポーツブロック連絡協議会の開催（岩手開催）

#### 1) 開催日程・会場（予定）

No.	ブロック	開催地	開催日	会場
1	九州	福岡市	5/22（金）	グローバープラザ
2	中四国	岡山県	6/15（月）	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
3	近畿	大阪市	7/14（火）	大阪市長居障がい者スポーツセンター
4	北信越	新潟県	7/20（月）	アートホテル上越
5	関東	埼玉県	11/ 2（月）	さいたま市浦和コミュニティセンター
6	中部東海	名古屋市	11/ 9（月）	愛知県産業労働センター ウィンクあいち
7	東北	岩手県	11/24（火）	いわて県民情報交流センター「アイーナ」
8	北海道	札幌市	12/ 5（土）	北海道立道民活動センター かでる 2.7

- 2) 参加対象：各県・指定都市障がい者スポーツ協会、同指導者協議会、行政担当課
- 3) 協議内容：各県における障がい者スポーツ振興の現状・課題に対する取組み等を共有する。

## 8 障がい者スポーツ団体の事務局運営(自主事業)

### (1) 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会

- ①指導者派遣事業
- ②フォローアップ研修会
- ③サントリー・チャレンジド・アスリート奨励金活用事業（約170万円）

- 1) 視覚障がい者を対象としたロッククライミング教室
- 2) 障がい児を対象とした運動教室
- 3) 総合型地域スポーツクラブとの連携推進事業及び資格取得促進事業
- 4) 被災地におけるスポーツ交流事業

→釜石鶴住居復興スタジアム（釜石市）、夢アリーナたかた（陸前高田市）を活用予定。

### (2) 岩手県卓球バレー協会

- ①指導者養成及び派遣事業
- ②各種大会審判・スタッフ派遣事業（運営主管予定大会／令和2年3月1日現在）

大会名	期日	会場
第3回希望郷いわてオープン卓球バレー交流大会	4/26（日）	ふれあいランド岩手
三陸復興卓球バレー交流大会（仮称）	7/12（日）	宮古市民総合体育館
第3回あまちゃんカップ・卓球バレー久慈交流大会 2020	9/ 6（日）	久慈市総合福祉センター
岩手県卓球バレー交流大会 2020	10/18（日）	ふれあいランド岩手
パラリーナ杯・卓球バレー交流大会	11/ 1（日）	パラリーナ
第2回さんてつカップ・卓球バレー宮古交流大会 2020	11/3（火祝）	宮古市民総合体育館

## 9 障がい者スポーツに関する理解啓発及び情報発信

- (1) ホームページを活用し、広く情報発信を行う。
- (2) 会報の発行（3回）

## 10 会員募集と自主財源の確保

### (1) 会員募集について

様々なイベントを通じた協賛募集や会員勧誘活動、PR 宣伝品の作成・活用、企業の CSR 担当部署との連携を図りながら、会員の拡大と自主財源の確保に努める。

### (2) 収益事業の実施

例年、実施していた支援金募集を収益事業として、積極的な営業活動を展開する。第1弾として「応援シャツ（別紙参照）」の販売を実施する。

### (3) 集金代行システムの導入

集金代行システムの導入にあたり、大阪ガスファイナンス株式会社と契約をした。これにより、会費や物販等のコンビニ払いによる集金が可能となることから、支払者の負担軽減とともに納入率の増加を見込んでいる。

## 11 諸会議の開催

協会運営を円滑に執行するために以下の所会議を開催する。

### (1) 理事会の開催

- 第1回：6月初旬／監査会：6月初旬
- 第2回：11月中旬
- 第3回：3月中旬

### (2) 定時総会

開催期日：6月下旬

### (3) 指導者情報交換会

障がい者スポーツに関わる指導者間の情報交換会を開催（3月）